令和7年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立外手小学校
校長名	柿沼 広美

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成	課 題
・目標値を上回ったものは、51観点中48観	・目標値を下回ったものが、3観点(5年理科)
点で全体の94.1%であった。	で全体の 5.9%であった。
・目標値より5P以上上回ったものは、37観点	・昨年度の校内正答率を下回ったものが、51
で全体の72.5%であった。	観点中18観点の35.3%であった。
・国語15観点中目標値より5P以上上回った	・6年国語の「思考・判断・表現力」については
ものは12観点で全体の80%、算数15観	昨年度よりも9.7P伸びたが「知識・技能」
点中13観点で全体の86.7%であった。	については7.9P下回っていた。
・全体として目標値を5P以上上回ったものが	・2年は6観点中2観点、3年は6観点中6観
51観点中36観点で70%以上であった。	点、5年は12観点中8観点、6年は15観点
・昨年度の課題であった4・5・6年の社会にお	中2観点が昨年度の校内正答率を下回ってい
いて9観点全てで目標値を上回り、昨年度よ	た。
りも5P以上伸びているものが8観点あった。	

(2) 意識調査結果から

成果	課題
・i スコア (絶対評価的性格) の値を見ると各学	・学級単位の値で見ると差異があり、学年全体
年ともに「学習習慣」「学習意欲」は、全国値	で向上させるための手立てを共有し、指導し
と同程度であった。	ていく必要がある。
・4年の学習に関する項目の標準スコア(相対	・4年以外の学習に関する項目の数値が昨年度
的性格) は全国値より 2P 以上上回った。	と比較すると低下傾向にある。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成果	課題
・全国学力・学習状況調査(6年)において3教	・全国平均は上回ったが、個人差がある。「ふり
科ともに全ての観点で全国平均を上回った。	返りシート」や「ベーシックドリル」等を使っ
・高学年は、自分の課題を克服するための自主	た遡り学習をする必要がある。
学習を取り入れている。	・自分の課題を克服するための学習の方法を個
・中学年は、調べる学習コンクールの出前授業	別に指導する必要がある。
を受け取り組む意欲が高まっている。	・できることが増える喜びを味わわせながら学
・低学年は、楽しみながら「まるぐランド」に取	習意欲が高まる指導の工夫をする必要があ
り組むようになっている。	る。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 学力調査の分析と授業改善への活用

① 児童の学習状況の把握と学力の現状を分析

学力調査結果をもとに担当する学年、学級や教科の課題を明確化し克服するための学力向上 プランを作成する。

② 学力向上プランをもとにした授業改善

作成した学力向上プランをもとに、児童一人一人の学習の定着度に合わせた効果的な授業を展開する。課題克服に効果的な教材を学年や教科担当と話し合うなど、本時の目標を達成するための手立てを工夫する。また、児童自身がめあてを把握し、達成するための見通しをもつことができるように「学習課題→めあて→見通し→自力解決→比較検討→まとめ→ふり返り」のような授業を展開する。多様な児童同士が関わり合い対話的な学びを充実させ児童が主体的に学習できるように改善する。

③ PDCA サイクルの継続

昨年度に引き続き、明らかになった課題に対し、学年や教科ごとの短期的・長期的に計画、 実行、評価、改善のサイクルを継続して実施する。

(2) ICT 機器を活用した授業と個別学習支援の充実

① ICT を活用した授業

デジタル黒板、タブレット端末、デジタル教科書などを活用し、児童がわかる授業を実践する。

② ICT を活用した個別学習

各層の実態に合った墨田区のふり返りシートを配信し、提出箱に提出させ、誤答があった場合はその都度個別指導を行う。DE 層の児童については、個人学習プロフィールを作成し、基礎学力の定着を目指す。家庭学習では、与えた課題だけではなく「ふり返りシート」「ミライシード」「よむ YOMU ワークシート」等のタブレットを使用し、自分で選択した課題や自主学習にも取り組むことができるようにしていく。

③ 保護者との連携

保護者会や個人面談を通し、学習の状況や学力調査結果を保護者と情報共有し、協力して児童の学習支援ができるようにする。

(3) 教職員の共通理解と協力

① 教職員の共通理解

教員同士がコミュニケーションを図り、児童の学力向上に向けて PDCA サイクルが継続して実施できるようにしていく。

② 学力向上に向けた 0.IT の充実

月に1回の 0JT だけではなくいつでも授業改善の進捗状況や問題点について話し合う環境を整えていく。教材や指導法についての情報を共有し、指導力の向上をさせ、児童の学力向上を目指す。

3 「令和8年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1)目標

- ・5 1 の全ての観点において目標値を上回るようにする。また、目標値よりも 5 P 以上上回るものを今年度、達成した 3 7 観点 (7 2 . 5%)以上にする。
- ・目標値を下回ったものまたは、同程度のものは5P以上上回るようにする。